

農協改革

中央会廃止「再検討を」

自民県連 野田総務会長に要請

自民党県連は6日、政府の規制改革会議がまとめた農協の中央会制度廃止などを盛り込んだ農業改革案に關し、「農協組織を解体するに等しい」として再検討を求める要請書を野田聖子党総務会長に提出した。

政府は自民党の独自の案を踏まえ、農業改革案を月内にまとめる新成長戦略に反映させる構え。「性急なスケジュールで検討が進められている」として要請活動を行った。

自民党県連の早川捷

也総務会長、藤壇守政農林部長らが、J A岐阜調会長、小原尚政調会、岐阜中央会の岡田忠敏会

長とともに党本部を訪れた。要請書では、同改革案を撤回し、農協や農業者の意見を聞き真に農業を強くする方策を話し合うことがでさる組織をつくった上での再検討を求めた。面談後、早川総務会長は「じっくりと時間

をかけて協議し、足りない部分をどうするかを出していかないといけない」と述べた。規制改革会議の農業改革案は、中央会制度廃止のほか、全農の株式会社化などが盛り込まれている。

(山田孝二)